

ドミトリー・デミアシキン（Дмитрий Демяшкин, Dmitry Demyashkin）は、1982年モルドヴィア共和国の首都サランスクに生まれた。7才よりピアノを始め、伝統あるカザン音楽院でW.スピリドノヴァ女史に師事。2年後、新しく師事したK.A.シャシュキナ女史のモスクワ移住に伴い、デミアシキンも家族と共にモスクワに転居し、1991年よりモスクワ中央音楽学校で学ぶ。

15歳の時、スイスで開催されたマルゲス国際マスタークラス（今日のアストナ国際夏季音楽アカデミー）に参加したが、その後主催者側から全額奨学金を授与されてさらに2回招待参加したことが、後のスイス市民権取得につながるスイスとの最初の縁となった。

1993年11歳でのチェコの国際コンクール優勝を皮切りに、1994年クレモナ国際テレビ放送コンクール第1位（イタリア）、2002年国際ロシア音楽コンクール第1位（アメリカ）、2007年ベートーヴェン国際コンクール第3位（ドイツ）など、全ヨーロッパ及び北米を中心に2桁に上る数々の重要な国際コンクールの覇者となり、その演奏の類稀な豊かな音楽性、洗練された優雅さ、繊細さは、輝かしい超絶技巧を伴って各地の審査員や批評家たちに鮮烈な印象を与え続けてきた。

1999年より、スイス・フォントーベル銀行リラ財団の奨学金を得て、チューリッヒ芸術大学にてコンスタンティン・シェルバコフ、及びホメロ・フランセシュ各氏に師事。並行してT.L.コロス女史（ロシアの功労芸術家）のもとでモスクワ中央音楽学校での勉学を修了。さらに、フランス、ドイツにおいて、レウ・ナウモフ、アレクセイ・リュビモフ、エリソ・ヴィルセラージェ、ドミトリー・バシキーロフ、ヴラディミール・ヴィアルドといったロシア楽派の巨匠達の下で研鑽を積み、その美しい才能は多くの巨匠たちを魅了した。

チューリッヒ芸術大学にて演奏家養成課程（2005）、及びソリスト課程（2007）を最優秀の成績で修了。2008年から2010年までチューリッヒ芸術大学にてホメロ・フランセシュ教授の助手を務めた。

デミアシキンは世界各地の膨大な数の演奏会に出演し、また、チューリッヒ・トンハレ・オーケストラ、チューリッヒ室内楽団、ベートーヴェン・オーケストラ・ボン、リージュ交響楽団、プラハ交響楽団、サンクトペテルブルク交響楽団、サンディエゴ・シンフォニーオーケストラ他と共演。中でもヴラディミール・フェドセイエフ指揮モスクワ・チャイコフスキー交響楽団等とは既に何度も共演を重ねている。2012年よりスタインウェイ・アーティスト。

”デミアシキンの舞台での存在感は、その音楽・演奏と同様にえもいわれぬ魅力をたたえる。彼は真のスターであり、その存在は新しい世紀の偉大なる発見となるであろう！”

ジョン・ベル・ヤング★

★ザ・サンクトペテルブルク・タイムズ、クラヴィーアマガジン、オペラニュース、
アメリカンレコードガイド評論家

【プロフィール】

ドミトリー・デミアシキンは11歳でチェコ共和国において最初の国際舞台での成功を手にし、その名は瞬く間に巨大な才能に驚愕した批評家や熱狂したコンクール審査員らに語り継がれることとなった。以来、全ヨーロッパ及び北米を中心とする世界各地において膨大な数のコンサートに出演、数々のオーケストラとも協演し、また2桁に上る重要な国際コンクールの覇者となり、その演奏は数多くの国々でラジオやテレビで放送された。

偉大なロシア人ピアニストの系譜といえば、モスクワ、サンクトペテルブルクがまず思い浮かぶであろう。しかしデミアシキンはその例にならわず、少数民族であるモルドヴィア人として、モスクワより600キロ南東のサランスクの地に生を受けた。7歳で歴史あるカザンの音楽学校で音楽を学び始め、V.スピリドノヴァ女史に師事。2年後、新しい師であるK.A.シャシュキナ女史が首都モスクワの中央音楽学校に転任となったのをきっかけに、その突出した才能を認め全面的に支援することを決めた家族と共に、モスクワに移った。

15歳の時、スイスで開催されたマルゲス国際マスタークラス（今日のアストナ国際夏季音楽アカデミー）に参加。その後主催者側から全額奨学金を授与されてさらに2回招待参加したことが、後のスイス市民権取得につながるスイスとの最初の縁となった。

1999年よりスイス、チューリッヒのフォントーベル銀行リラ財団の全面的な経済支援を受け、チューリッヒ芸術大学にてコンスタンティン・シェルバコフ、及びホメロ・フランセシュ各氏に師事。並行してT.L.コロス女史（ロシアの功労芸術家）のもとでモスクワ中央音楽学校での勉強を修了した。

さらに、フランス、ドイツにおいて、レウ・ナウモフ、アレクセイ・リュビモフ、エリソ・ヴィルセラゼ、ドミトリー・バシキーロフ、ヴラディミール・ヴィアルドといった名だたるロシア楽派の巨匠達の下でも研鑽を積んだ。殊に高名なピアニストであるヴィアルドはデミアシキンの類稀な音楽的才能、その演奏の優雅さ、繊細さと、輝かしい超絶技巧の融合に魅了され、彼を何度も著名な音楽祭に招待した。また、デミアシキンは指揮者のヴラディミール・フェドセイエフの下、チャイコフスキー交響楽団と数度に渡りソリストとして協演している。

チューリッヒ芸術大学にて演奏家養課程（2005）、及びソリスト課程（2007）を最優秀の成績で修了。同年、デミアシキンは史上最年少で故国モルドヴィア共和国の功労芸術家賞を授与された。また、2008年から2010年までチューリッヒ芸術大学にてホメロ・フランセシュ教授の助手を務め、2012年よりスタインウェイアーティストとなっている。

デミアシキンの実直で控えめな人柄は、自らの才能や成功の数々を声高に誇ることは決してない。しかし、その稀有で巨大な才能を、米英を始めとする各国の音楽評論家たちは見逃さなかった。精緻なフレージングの妙技、クリスタルのような透明な美音は、往年の名ピアニスト、ギレリスの再来と評されるなど、その成熟した豊かな個性は常に激賞されている。

【出演音楽祭（抜粋）】

- 1994年 第20回イスタンブール国際音楽祭（トルコ）
- 1997年 第3回モスクワ国際ヤングミュージシャン音楽祭（ロシア）
- 1997年 第4回ニズニー・ノヴゴロドNew Names音楽祭（ロシア）
- 1998年 第30回コンチェルティーノプラハ音楽祭（チェコ共和国）
- 2002年 オマッジオ・ア・ローマ音楽祭（イタリア）
- 2002年 第10回カリフォルニア・ヴェントゥーラ音楽祭（アメリカ）
- 2005年 第8回カリフォルニア国際受賞記念音楽祭（アメリカ）
- 2006年 エイラト冬季音楽祭（イスラエル）
- 2007年 ロウエン音楽祭（フランス）
- 2008年 ルールピアノフェスティバル（ドイツ）
- 2009年 モントルー9月音楽祭（スイス）

【協演オーケストラ（抜粋）】

- バーゼル交響楽団
- ベートーヴェンオーケストラ、ボン
- カリフォルニア交響楽団
- リージュ交響楽団
- ニズニー・ノヴゴロド交響楽団
- プラハ交響楽団
- サンクトペテルブルク交響楽団
- ベラルーシ国立室内楽団
- モスクワ・チャイコフスキー交響楽団
- チューリッヒ・トンハレ交響楽団
- ワールドチルドレンズオーケストラ
- チューリッヒ室内楽団
- チューリッヒ交響楽団

【コンクール賞歴】

- 1993年 ウスティ・ナド・ラベム国際ピアノコンクール第1位（チェコ共和国）
- 1994年 国際テレビ放送コンクールブラヴォ・ブラヴィッシモ第1位（イタリア、クレモナ）
- 1994年 国際フィノ・ウグリッシュコンクール第1位（ロシア、ヴォトキンスク）
- 1997年 プラハコンチェルティーノ国際コンクール第1位（チェコ共和国）
- 1998年 白ロシアピアノフェスティバル第1位
- 2001年 第7回de la Venoge音楽コンクール第1位（スイス、ローザンヌ）
- 2002年 第3回国際ロシア音楽コンクール第1位、チャイコフスキー特別賞（サンノゼ・カリフォルニア、アメリカ）
- 2006年 カサグランデ国際コンクール1位なし第2位（イタリア、テルニ）
- 2007年 ベートーヴェン国際コンクール第3位 8（ドイツ、ボン）

【奨学金・その他受賞歴】

- 1992-1997年 New Namesチャリティープログラム奨学金
- 1996年 ユネスコ財団"New names of the planet : 20世紀から21世紀へ"のゴールデンブック奨学金
- 1996-2006年 ロシア・モルドヴィア共和国奨学金
- 1997-2000年 国際V.スピヴァコフチャリティー財団奨学金
- 1998年 ヨーロッパ連合ユースピアノコンペティション "Dancing Angel"像授与
- 1999-2006年 フォントーベル銀行リラ財団奨学金
- 2007年 モルドヴィア共和国功労芸術家賞授与
- 2012年～ ハンブルク・スタインウェイ社よりスタインウェイアーティストに登録される

（日本語訳：生田敦子）